

ISDN端末機器市場に参入

■フロッピーディスクのデータを約3分で転送

ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX1』

～愛称：FDわーぶ～

新 発 売

1990年8月

ヤマハ株式会社

本 社：静岡県浜松市中沢町10-1

社 長：川 上 浩

当社は、ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX1』(愛称:FDわーぶ)を、9月1日(土)から発売いたします。本製品は、フロッピーディスクドライブを2台(3.5インチ、5.25インチ各1台)と電話機を一体化したISDN(総合デジタル公衆回線網)専用の通信端末装置で、送信側、受信側に設置し、フロッピーディスクのデータの送受信を行う機器です。



<製品概要>

コンピュータをはじめとする各種のデータを離れた場所に転送するには、現在、各企業がNTTと独自に契約する専用線や、パソコン通信(アナログ回線)が利用されています。しかし専用線は契約料(約400万円/1契約/年)の問題から大量のデータを扱う場合に限られています。またパソコン通信は通信時間(フロッピーディスク1枚で約40分)の問題、および異なる機種同士(OSの異なる)では転送できない、操作が煩わしい等の問題から、使い勝手に劣ります。近年では、企業への急速なOA機器の導入により、フロッピーディスクそのものを郵・配送するケースが増加しています。

このような状況下、フロッピーディスクファクシミリ『FDX1』は、公衆網であるISDNの特長を利用し、フロッピーディスクのデータを高速に、しかもFAX感覚でだれもが簡単な操作でやり取りを行えるISDN通信端末機器です。

CAD/CAM・電算写植・受発注・納品・配送データおよびワープロ原稿・名簿等のやり取りに幅広く利用できる、ISDN時代のフロッピーディスクデータ転送装置です。

<特長>

- ① フロッピーディスクのデータを最大約3分で転送できます。またヤマハ独自のデータ圧縮機能により、さらに20%から60%の通信時間の短縮が可能です。このデータ
- (P3参照)

圧縮により通信コストの大幅な低減を実現できます。

- ② I S D Nの特長であるエラーフリーを最大限に活用、かつベリファイ機能により、高信頼性を確保いたします。
(P3参照) (P3参照)
- ③ 3.5インチ、5.25インチの2ドライブ構成。さらに市販の8インチドライブも接続可能です。各種サイズ間でのデータ送受信はもちろん、単体では異なる種類のフロッピーディスク間のコピー装置(メディア変換)としても利用できます。
- ④ J I S規格(IBM/ISOフォーマット)に準拠しているものに対応しています。複数の異なるパソコン、ワープロ等を持つ事務所でも、これ1台で対応できます(現在使用されているパソコン等のOSの大多数はJ I S規格のフォーマットで記録されています)。
- ⑤ 電話一体型のコンパクト設計。F A X感覚で手軽に利用できる使いやすさ優先の設計です。I S D Nの特長として、データ転送中も電話をかけることができ、相手側との確認の際に便利です。
- ⑥ 相手先データをこちらから要求して受信できるポーリング機能、一度受信したデータに2度書込みを防止する機能、フロッピーディスクの初期化の必要がない自動フォーマット機能、パスワード・I D識別などのセキュリティ機能、一度の登録で複数箇所へデータを送る順次同報機能などの多彩な転送機能を装備しています。
(P3参照)

なおヤマハでは、1989年2月、自社開発したI S D N用L S Iである『YM7303』用の『評価用ボード』(パソコン用回路ボード)を開発、また1989年4月にはI S D Nを利用して遠隔地との同時演奏を可能とする『I S D N同時演奏システム』を開発するなど、I S D Nの普及に寄与するさまざまなアプリケーションの開発を進めております。今回は幅広いユーザーを対象とした端末機器の第1弾として“FDわーぶ”を発売するものです。

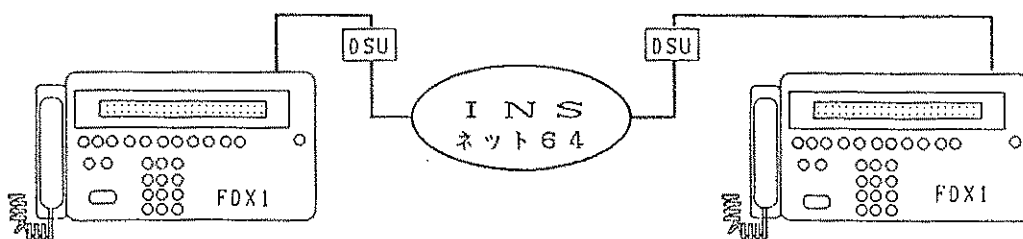
品名	品番	価格(消費税別)	発売日
ヤマハフロッピーディスクファクシミリ(FDわーぶ)	F D X 1	498,000円	9月1日

※本製品の使用にはI S D N回線(NTT)の契約が必要です。

※また通信には送信側、受信側それぞれに本製品の設置が必要です。

初年度販売予定数 = 5,000台

<概略図>



※DSU=デジタル・サービス・ユニット/機能装置

<注>

※データ圧縮機能

フロッピーディスクは、通常、記憶容量分を全量使用しているケースは希で、またデータによっては一定のパターンで記憶されているケースもあります。
ヤマハ独自のデータ圧縮機能は、こうしたデータの内容に応じて効率的な送信を自動的に行うようにするもので、一層の通信時間の短縮が可能です。

※エラーフリー、ベリファイ機能

ISDNでは、端末機器を接続するモジュラージャックからモジュラージャックまでの通信回線上のエラー発生率を、約10万分の1以下に抑えています(エラーフリー)。
ベリファイ機能は、モジュラージャック以降の端末機器内で発生するエラーを抑えるものです。通信時はもちろん単体でフロッピーディスクのコピーに使用した場合も、ベリファイ機能は使えます。

※セキュリティ機能

パスワード、電話番号等を利用し、指定先以外へのデータの流出および指定先以外からのデータの侵入を防ぐ機能です。

※順次同報機能

順次同報機能とは、1回の操作で複数の相手に自動的にデータを順次発信する機能で、本製品では最大100ヵ所まで同報先として指定できます。

<主な仕様>

装置形態	電話機内蔵一体型
FDDユニット	3.5インチ(2DD/2HD/2M) 5.25インチ(2DD/2HD) ※市販8インチ(1S/2S/2D)ユニットを外部接続可能
表示部	LCD 40桁×2行 時計、通信時間、課金情報、発信者番号、他
通信回路	ISDN(2B+D)、プロトコル(LAP-B)
電話機能	ハンドセットによる通話
セキュリティ機能	ID識別(最大100)、パスワード(8桁)
転送形態	ボリューム単位
FD変換機能	3.5インチ、5.25インチ、8インチ相互間のデータ変換
その他の機能	自動受信、受信ファイル保護、順次同報、データ圧縮、ポーリング機能、ベリファイ機能、自動発呼、短縮ダイヤル(最大100)
使用電源、消費電力	AC100V 50/60Hz 約13W
外形寸法	約385(W)×280(D)×132(H)mm
重量	約4.6Kg



ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX1』(FDわーぶ)
価格 = 498,000円(消費税別)



ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX1』(FDわーぶ)
価格 = 498,000円(消費税別)